

「発車メロディ」の 文化資源学

演者：わたなべ ひろし 氏

(東京大学名誉教授・東京音楽大学特任教授)



専門分野は聴覚文化論・音楽社会史。玉川大学助教授、大阪大学助教授、東京大学教授、東京音楽大学教授を歴任。現在、成城大学大学院文学研究科にて非常勤講師を務める。著書に『聴衆の誕生』（中公文庫、サントリー学芸賞）、『歌う国民』（中公新書、芸術選奨文部科学大臣賞）、『サウンドとメディアの文化資源学』、『感性文化論』（以上、春秋社）など。

日 時

11/30 木
16:40 ~ 18:40

会 場

成城大学3号館地下1階
003教室

ご参加について

参加をご希望の方は、11/29(水)までに以下の事前申請フォームよりお申込みください。*参加費無料

*講演中の写真撮影、録音は固くお断りいたします。

*未就学児の入場はご遠慮ください。

▶ <https://forms.gle/WEVrTZFeBZbxoEoj6>



近年、「文化資源」という言葉を耳にする機会が多くなりました。「芸術作品」「文化財」といった既成の概念ではカバーできないようなさまざまな事象に目を向け、その価値を広く知らしめるような場面で用いられているのですが、この考え方はまた、「芸術作品」のような既成の概念やそれに伴うさまざまな前提を無反省的に適用してしまうことが、「文化」を見る際のわれわれの見方を歪め、それを成り立たせている「ツボ」を見失わせているということも、われわれに教えてくれます。

この講演では、近年鉄道各駅で用いられている「発車メロディ」を題材として、そのような観点から考えてみたいと思います。

